

令和2年10-12月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和3年1月15日

群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和2年12月10日～令和2年12月31日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは268社で、全体の回収率は53.6%となった。回答企業の平均従業員数は53.3人であった。

業 種 \ 項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
		数	率	
食 料 品 製 造 業	95 社	45 社	47.4%	64.1 人
繊 維 ・ 同 製 品 製 造 業	59	36	61.0	19.5
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	30	17	56.7	21.6
紙 加 工 品 製 造 業	32	14	43.8	23.4
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	61	41	67.2	30.1
金属・機械・プラスチック製品製造業	223	115	51.6	76.3
計	500	268	53.6	53.3

6. 要旨

「回復の兆しが見られるものの、依然として閉塞感が漂う」

売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和元年 10-12 月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲50.1 となり、前回調査（令和 2 年 7-9 月期）の▲62.9 から 12.8 ポイント上昇している。来期見通しにおいては、17.6 ポイント上昇し▲32.5 となる見通しになっている。

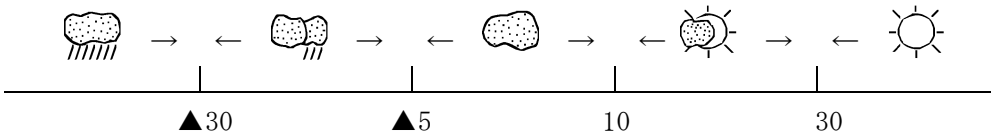
全体の天気図は、4 期連続で「雨」となり、引き続きどしゃ降りの様相が続いている。また、来期見通しにおいてもどしゃ降り状態こそ脱するものの「雨」が続く見通しとなっている。

【図表 1】

【図表 1】

	30 年	元年(31 年)				2 年				来 期 見 通
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	
全 体	 ▲5.9	 ▲19.5	 ▲16.7	 ▲18.5	 ▲27.1	 ▲38.5	 ▲70.4	 ▲62.9	 ▲50.1	 ▲32.5

※景況天気図は「売上高」「収益性」（同期比）のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、8 業種すべてにおいて横ばいとなっている。

- 横ばい…「食料品」  が継続。
- 「繊維・同製品」  が継続。
- 「木材・木製品」  が継続。
- 「紙・加工品」  が継続。
- 「窯業・土石製品」  が継続。
- 「金属・同製品」  が継続。
- 「機械・機器」  が継続。
- 「プラスチック製品」  が継続。

来期見通しにおいては、回復2業種、悪化0業種、横ばい6業種となっている。

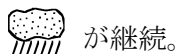
回復…「金属・同製品」



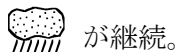
「プラスチック製品」



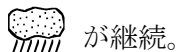
横ばい…「食料品」



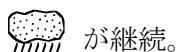
「繊維・同製品」



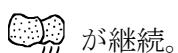
「木材・木製品」



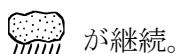
「紙・加工品」



「窯業・土石製品」



「機械・機器」



【図表2】

